

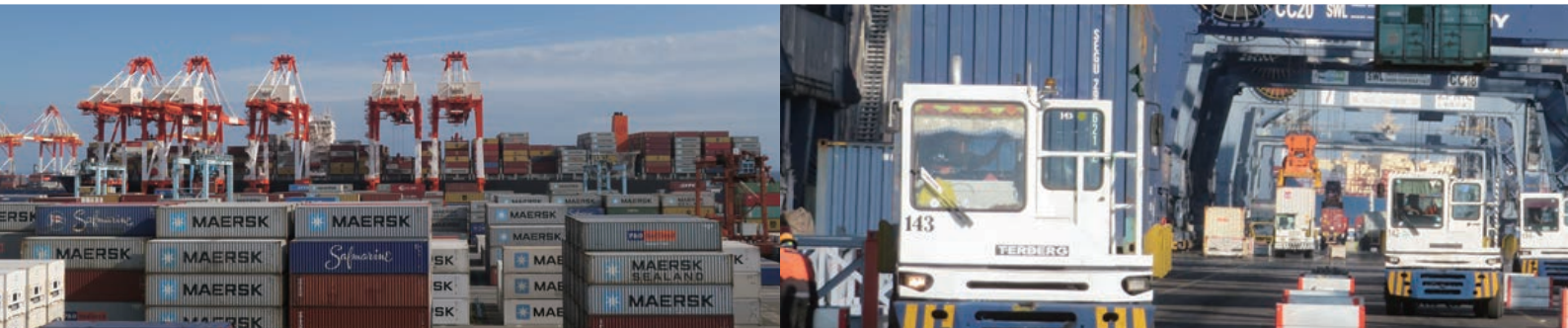
港湾物流高度化寄附講座



京都大学

設置期間 2023年7月1日～2026年6月30日

寄附者 一般財団法人港湾空港総合技術センター/一般財団法人沿岸技術研究センター/一般財団法人みなと総合研究財団

 「脱炭素化の動きに対応したグローバル・ロジスティクス
及び港湾インフラ整備に関する研究」


教員 教授 山田 忠史 / 特定教授 赤倉 康寛 / 特任教授 小林 潔司

客員教授 小野 憲司 / 客員教授 宮島 正悟 / 客員教授 飯田 純也 / 客員准教授 坂田憲治 / 特命教授 渡部 富博 / 特命教授 加藤 晃

講義 ◎ グローバルロジスティクスー戦略と実務

研究テーマ

本寄附講座では、脱炭素化が世界的な潮流となる中で、多様な関係者と連携し、理論と実践の両面から、下記の研究を実施しています。

- ①ビッグデータを活用したグローバル・ロジスティクス及び港湾インフラ整備の効率向上による国際競争力強化に関する研究
- ②我が国企業のグローバル・ロジスティクスの経済安全保障に関する研究

背景・概要

本寄附講座は、GX や DX (Green/Digital Transformation)、経済安全保障などに適応したグローバル・ロジスティクスおよび港湾インフラ整備に関する研究を進めています。

信頼性の高く費用効率の良い海上輸送は、グローバル化した世界経済の重要な成立基盤ですが、世界経済・貿易の環境変化により、多様な輸送需要を満たすだけでなく、持続可能性を高め、デジタル技術の浸透やリスクへの対応も求められています。

地球温暖化対策として、海運・港湾の脱炭素化の推進などによる持続可能なロジスティクスの構築は、喫緊の課題です。また、米中貿易戦争やスエズ運河の閉塞、世界的なコンテナ輸送の停滞（サプライチェーン・クライシス）などを踏まえ、ロジスティクスの強靱化も不可欠です。加えて、人口減少により国内の投資余力が限られる中で、適切なアセットマネジメントも、海上輸送機能の確保のために極めて重要です。

グローバル・ロジスティクスの持続可能性と強靱性を確保しつつ、その効率性を向上させ、より効果的なアセットマネジメントを推進するための鍵は、ビッグデータや AI などのデジタルテクノロジーの活用にあります。

港湾物流に関して、産官学の連携を生かして実践的な政策提言を行うことにより、その高度な発展に貢献してまいります。



国際運河閉塞等を想定したロジスティクス強靱化の検討



ビッグデータを活用したアセットマネジメントの高度化

港湾物流高度化寄附講座



京都大学

設置期間 2023年7月1日～2026年6月30日

寄附者 一般財団法人港湾空港総合技術センター/一般財団法人沿岸技術研究センター/一般財団法人みなと総合研究財団

 「脱炭素化の動きに対応したグローバル・ロジスティクス
及び港湾インフラ整備に関する研究」


教員紹介



山田 忠史 教授

専門分野

ロジスティクス、交通計画

担当科目

サステナブルサプライチェーン、グローバルロジスティクス、プロジェクト・オペレーションズマネジメントワークショップ/ International Project Management Workshop など

Message

貨物輸送、サプライチェーンマネジメント、マルチモーダル交通、技術経営などを対象に、混雑や環境負荷などの社会的問題を考慮しながら、実際の事例や計画、あるいは、理論的・数値的解析を通じて、交通・物流サービスのあり方、交通・物流ネットワークの設計、交通・物流の技術経営などについて考究します。



赤倉 康寛 特定教授

専門分野

国際物流、港湾計画

Message

地球温暖化問題やコンテナ輸送の世界的停滞の発生により、サプライチェーンの効率化と、脱炭素化・強靱化の両立が求められており、ビッグデータの活用などによって、より良い解を見出していきたいと考えています。



小林 潔司 特任教授

専門分野

計画・マネジメント論

Message

高度情報化・知識集約型社会における公共政策の策定・運用・管理のあり方について、経済学的・工学的知識に基づいて考えていきましょう。政策評価やゲーム理論の考え方や手法について、実際のケーススタディを例にとりあげながら研究を進めていきます。



小野 憲司 客員教授

専門分野

災害時物流、事業継続マネジメント、港湾物流システム

Message

災害に対する地域社会と経済のレジリエンシーは、災害発生時の人的被害を最小化するとともに、災害後のいち早い経済活動の復興を可能とする物流がその一端を担っています。そのような物流システムの構築と運用に向けた平時からの備えの在り方の明確化とそのための科学的アプローチの発展に寄与したいと考えています。



宮島 正悟 客員教授

専門分野

ロジスティクス・港湾施設

Message

国際物流を取り巻く環境が大きく変化する状況下で、我が国の強みを活かせるコールドチェーン物流の海外展開、物流における脱炭素の推進、そして物流を支える港湾施設整備の高度化に関する研究に取り組みたいと思います。



飯田 純也 客員教授

専門分野

港湾物流、データ連携技術、情報システム

Message

国際貨物輸送においては多岐に渡る民間企業・行政機関が関わっています。これらステークホルダー間のスムーズな情報伝達による効率的かつ安全・安心な貨物輸送に向け、情報技術の適用や標準化に関する研究に取り組みます。



坂田 憲治 客員准教授

専門分野

維持管理工学

Message

港湾インフラの整備及び維持管理の効率化・高度化に向けて、ICT 技術やビッグデータを活用した研究を、理論と実務の両面から取り組みたいと考えております。



渡部 富博 特命教授

専門分野

港湾物流、港湾計画、ロジスティクス

Message

経済のグローバル化・情報化の進展・脱炭素化への取り組みなど国際物流を取り巻く輸送環境が大きく変化するなか、港湾物流をさらに効率的、戦略的に進めるための研究を、理論と実務の両面から進めたいと思います。



加藤 晃 特命教授

専門分野

経営戦略 / 情報開示、サステナブルファイナンス

Message

政府が推進する「トランジションファイナンス」政策において、国際海運、国内海運、航空は重点分野となっています。これらの産業を支える投融資の視点で研究に取り組みたいと思います。